

二中校区学校運営協議会主催

小中学生・地域の大人・保護者参加の
熟議で、これからの地域について考える

二中校区の小中学生、地域の大人、保護者が校区の課題や現状をともに共有し、「魅力的な地域にするために何ができるか」を大きなテーマに、活発な対話と議論を重ねる熟議を8月24日(木)、第二中学校の多目的ルームを会場に行いました。

今回の熟議では、地域への関心や興味を高めるとともに、地域や学校が抱える課題について大人のみならず、小学生や中学生を交えて、多様な世代や多様な立場から「自分たちでできること」「自分たちに必要なこと」などについて、話し合いが行われました。

小学生12名、中学生26名、保護者や地域の方16名、その他 オブザーバーとして、教職員・教育委員会事務局関係者13名程度の参加がありました。

今回の熟議を中心となって進めたのは、第二中学校の生徒会役員の生徒のみなさんでした。ファシリテーターや全体進行を担った中学生は、地域の方や小学生と気軽にコミュニケーションが取れるようにグループの雰囲気づくりに努力していたのが印象的でした。

また、全体進行を務めた、男子中学生2名は、協議の内容の全体をみながら会場全

体で話題になっていることが共有できるように紹介したり、自分の感想を交えたりしながら進行をしました。

アイスブレイクから本題の「自分たちが好きだといえる地域(第二中学校区)をめざして、(自分は、地域の人たちともに)何ができるか」という協議では、以下のような報告がありました。中学生のファシリテーターから、自分の生きた言葉で、語られたのは感動ものでした。

- ① 「人とのつながり」を大事にしていることが必要だということが出ました
今日行っているような地域の人や保護者・小中学生など、いろいろな世代の人たちがSNS上でのかわりではなく、直接に議論や対話を行うことが大切だと思います。熟議の機会を増やしていき、人とのつながりを作っていくことが大切だと思います。
- ② 私たちのグループでは、地域の人にやってみたいことをきちんと伝え、地域の人とともに、一緒に活動することで地域の人とのつながりを作っているのではないかと出ていました。
- ③ 地域の人たちとのかわりが大切で「あいさつ」といった普段の取組が必要だという声がありました。
- ④ 私たちの中では、「地域の人同士の交流を増やす」取組が大事だということが出ました。

他にも、ゴミを減らしたり、空き家

をなくしていったりしていくことが出ていました。

- ⑤ 今日は、二中校区だけで熟議を行っていますが、一中校区や三中校区の様子は、よくわからないので、境港市全体で熟議をしていくことが必要ではないかということが出ていました。
- ⑥ 大切なのは、ボランティア活動にかかわる取組をはじめ、地域の人たちとのかかわりを増やすことで、つながりができていくと思います。こうした取組を通して、地域に若者を呼び込むこともできると思います。

地域の参加者からは、これまで、「大人同士の対話や議論の経験はありましたが、中学生、ましてや小学生との幅広い世代をまたいでの話し合いはとても貴重な機会でした」という声がありました。



【小学生の参加者の声】

■こういう意見交換ができると、いろいろなことを知ることができました。自分の生活にも生かせるなあと思いました。

■いろいろな人(地域の人・中学生・ほかの学校の小学生)の意見があって、「なるほど」「そうだね」と思いました。次も、こうした機会があれば参加したいと思えるほ

ど楽しかったです。

【中学生の参加者の声】

■今日のような熟議の回数を増やせるといいと思いました。小・中・高・大人・お年寄りという自分とは異なる世代の考えや伝統を取り入れること(先人の知恵や考え)により、地域の中のつながりが増え、境港(自分の住む地域)がよりよい地域になると思いました。

■今日の熟議は、すごい話やすく、楽しかったです。環境が変わっても、昔から続いている伝統や文化を自分は大切にしたいと思いました。

【地域の方・保護者の声】

■地域の行事を含め、地域の活動に参加したいという子どもたちの声を多く聞き、うれしく思いました。また、今後も、お年寄りや子どもたちの声を生かしながら、地域づくりを行っていきたいと思います。

■今、私たち大人が(未来を担う)子どもたちのために、何ができるか一体となって考え、活動をしていきたいと思っています。今日のような熟議の機会をまた、よろしくお願いします。

■受け身にならず、積極的に地域の方とかわり続けていくことが大切だと思います

